



山庄太夫咲分娘



桑田
作

Kusa: (No. 033)
Sanshō Dayū.
Book 1.

13
3978





山東名産



自序

西

華歌

云舞

凉仙

芸園日永して読耕は
 倦枕と採て宰予と
 時と客あり桑柘を
 啓て入る是則文寿堂乃
 主ののぞくはくはく

どう中う風流ありて
 ひたひたの雲舞
 思ひはげしきまはるる
 小の舞をてまはるる
 九乃乃甲厚まはるる
 先醒ひもれまはるる
 能くあはるるまはるる
 指掌しよ三月十七日せ
 てふあはるるまはるる
 のしらこおはるるまはるる
 ささるるまはるるまはるる
 つらつらまはるるまはるる
 あらまはるるまはるる

山から
次郎



霜風
 吹拂
 蓮蒂
 京水
 青

東の
丸







月夜に鳴る太鼓の音
 地を震らすその音
 ありきやうらや
 まるやいかに
 こころのちか
 しのもろもろ
 おしひのあはれ
 うやまひ
 あまの井と
 けしき
 さしと

段



月夜に鳴る太鼓の音
 地を震らすその音
 ありきやうらや
 まるやいかに
 こころのちか
 しのもろもろ
 おしひのあはれ
 うやまひ
 あまの井と
 けしき
 さしと

月夜に鳴る太鼓の音
 地を震らすその音
 ありきやうらや
 まるやいかに
 こころのちか
 しのもろもろ
 おしひのあはれ
 うやまひ
 あまの井と
 けしき
 さしと



まははて
 いふやうに
 山あつたはなまはな
 くらとていふいふいと
 するさしもそそらる
 のとていふいふいと
 づらぬとていふいふいと
 せんといふいふいと
 内乃やうとていふいふいと
 山あつたはなまはな
 まははていふいふいと
 そあつたはなまはな
 のとていふいふいと
 せんといふいふいと



くらとていふいふいと
 まははていふいふいと
 そあつたはなまはな
 のとていふいふいと
 せんといふいふいと
 内乃やうとていふいふいと
 山あつたはなまはな
 まははていふいふいと
 そあつたはなまはな
 のとていふいふいと
 せんといふいふいと

天保九年戊戌初春新彫

倭紫田舎源氏

おせひつらねのゝらげん
 当集十五編より三十編 志用おねのちりしり 奥四巻に挿巻あり

柳亭種彦作
 歌川國貞画

佐野渡忍敵懸橋

全六冊

櫻風呂花半開

全四冊

松風ゆき雪の藤浪

全八冊

復讐園茶話支庫

全四冊

歌川貞秀画

金花猫渡化生舖

全六冊

昔 大槌大むす 二冊
 昔 茶室のいろは 二冊
 昔 浦島太郎 三冊

仙女香
 黒油美衣香

三月四日
 本氏製



書物録繪
 問屋

江戸通油町
 鶴屋喜右衛門



